

廃止火力の発電機設備を米国にて有効活用

平成15年6月20日
北陸電力株式会社

当社では、廃止した火力発電所の発電機回転子を、米国の電力会社にて有効活用を図ることといたしました。

長期間運転されてきた発電機回転子を発電設備として海外で有効活用することは、当社にとって初めてであり全国的にもあまり例がありません。

この発電機回転子は、平成13年12月に廃止された富山火力発電所2号機の設備であり、昭和41年2月の運転開始以来35年間、当社の重要電源として約160億kWhを発電してきました。

廃止後は、当社の火力保守技術研修センターにおいて、研修用設備として活用されてきました。

今回、発電機回転子の精密点検を行った結果、健全性が確認され、(株)東芝を通じて米国の電力会社であるPPL社(Pennsylvania Power & Light Co.)に納入される予定となっています。

【発電機回転子仕様】

寸法： 全長10.6m×軸径1.0m

重量： 約44t

以 上

(参考)

富山火力発電所2号機の概要

<沿革>

昭和41年2月 運転開始

・出力： 156、250KW

・燃料： 原油

平成13年12月 廃止